



3つのデイケアのご紹介

当院には精神科デイケア、リワークデイケア、依存症デイケアの3つのデイケアがあり、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士が担当します。患者様それぞれがご自身の目的に合ったプログラムをお選びいただけます。

○精神科デイケア

ほっとできて、楽しくて、役に立つデイケアをモットーに、さまざまな精神疾患を抱えた方たちが、集団での活動を通して楽しみながらよりよい社会参加を目指します。他院に通院している方もご利用いただけます。

○リワークデイケア

うつ病、抑うつ状態で休職・離職中の方が対象です。週5日・4ヶ月間のプログラムを通じて職場復帰、再発予防を目指します。

○依存症デイケア

アルコールや薬物の依存症の方が対象です。治療プログラムではグループで学び、地域生活をしながら断酒・断薬の継続を目指します。また、地域の自助グループ等の参加へのステップとしてご利用いただけます。



Contents

- 3つのデイケアのご紹介
- 精神医療センターの栄養管理について
- 芹が谷地域ケアプラザにて講座を行いました。
- 駐車場の有料化について
- 専門病棟見学会のお知らせ
- 公開講座のお知らせ

精神医療センター基本理念

私たちは、こころの健康を支え、質の高い精神医療を提供します

●精神医療センターの栄養管理について●

栄養管理科

1. 入院患者様の食事提供

当院の入院患者様の平均年齢は46歳（平成28年9月調べ）です。そのため常食の設定栄養量は、2000Kcal、たんぱく質75gと少し多めになります。

栄養管理科の管理栄養士と調理職が献立作成、調理をそれぞれ担当しています。全ての患者様が安全に美味しく召し上がって頂けるようにスタッフ一丸となって取り組んでいます。サービスとして選択メニューを常食の患者様を対象に週一回実施しています。また、身体疾患を有する患者様やむせやすい患者様には、エネルギー量や塩分量を調整した治療食や安全性を配慮したペースト状やゼリー状の形態調整食など患者様のお身体の状態に合ったお食事を提供しています。

右記のカレー、めん類はとても人気のある献立です。



2. 入院・外来における栄養食事相談・栄養講座

WHOの健康の定義は、「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも精神的にもそして社会的にもすべてが満たされた状態にあること。」とあります。当院の患者様が精神疾患を抱えながらも健康を維持していかれることを目標にした栄養食事相談・栄養講座を行っています。相談内容は、疾患別の食事療法や体重管理、食生活の運営など具体的な指導を行っています。指導対象は患者様ですが、ご家族、支援者の方が同席して頂くことも可能です。当院の管理栄養士が責任を持って担当します。

ご希望は主治医にご相談ください。

3. 院内の多くの職種との連携

①個別の栄養管理に向けた取り組み

院内の医師、看護師をはじめとした医療専門職、事務職と栄養管理科スタッフが連携・協働して患者様個々に適したより良い栄養管理が提供できるチーム医療を目指しています。NST(栄養サポートチーム)・栄養管理検討部会の院内組織を基盤に職員向けの勉強会や、病棟カンファレンス、嚥下ラウンドを通して個々人の栄養管理を行っています。

今年度は、誤嚥予防のための食環境についてスタッフ一同、学びを深めています。



②食のイベントの開催

楽しみながら食に関心を持って頂くための食のイベントは、看護局やデイケア科、心理科、事務職など他セクションと協力して開催しています。参加した患者様がとても良い表情をしてくださり、栄養管理科スタッフの励みになっています。

これまで思春期病棟や高度ケア病棟、デイケアなどにおいてバイキングやカレー作り、おにぎり作りなどを実施しました。



芹が谷地域ケアプラザにて 講座を行いました。

地域医療連携室

芹が谷地域ケアプラザ地域包括支援センターと共催し地域住民の方に向けて平成28年9月8日(木)講座を開催しました。「精神科の病気について」「精神医療センターってなあに」をテーマにお話をさせていただき40名と多くの参加がありました。

当センター加藤医師から統合失調症、うつ病、物質（アルコール・薬物）関連障害の症状や特徴、病気が与える影響を踏まえた関わり方などの話があり、また、相手の話を傾聴することや幻聴体験について参加者の方に、ロールプレイを行いました。中居看護師からは、精神医療センターの概要とセンターが目指していること、障害者が地域で生活することの理解を含めて説明しました。

参加した方からは「統合失調症患者さんの幻聴の不快さが分かった」「精神科疾患の方の対応がしやすくなったと思う」「精神科医師の話をもっと聞きたい」「センターの方と関係を持てるよう、これからも講座を設けてほしい」などの感想や意見をいただきました。今回の講座開催は、精神科についての理解と当センターを知っていただく良い機会となりました。今後も地域の方と顔の見える関係を作っていくために、講座の開催など行いたいと思います。



駐車場の有料化について

日ごろから、精神医療センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、これまで当センターでは、駐車場を無料でご利用いただいておりますが、この度、利用者の皆様に料金のご負担をお願いすることといたしましたので、ご理解をお願いいたします。

1 実施時期

平成28年10月3日(月) 午後1時から

2 駐車料金

(1) 定額料金及び時間制料金

利用区分		料 金	
診療等を受けるために利用する場合	定額料金	1日1回300円	30分まで無料
その他の場合 (患者ご家族の面会や見舞客など)	時間制料金	3時間まで300円 以後1時間ごと100円	

※定額料金に該当する方は、ご利用の都度、受付・会計窓口（会計窓口が閉鎖の時は、夜間・休日窓口）で駐車券の認証を受けてください。認証を受けないと「時間制料金」となります。

(2) 免除

精神障害者保健福祉手帳等[※]の交付を受けている方が、運転又は同乗する場合は免除となります。ご来院の際は必ず手帳等をお持ちください。手帳等を忘れた場合、後日の返金はありません。

なお、自立支援医療受給者証は対象となりませんので、ご注意ください。

※身体障害者手帳、療育手帳（横浜市の「愛の手帳」等）を含む。

※免除に該当する方は、ご利用の都度、受付・会計窓口（会計窓口が閉鎖の時は、夜間・休日窓口）で駐車券の認証を受けてください。

3 支払方法

出口精算機によるお支払いとなります。千円紙幣又は10円以上の硬貨のご用意をお願いします。一万円・五千円・二千円紙幣の取り扱いはできません。

※二輪自動車は、有料化の対象外です。駐輪場にお停めください。

※ご不明な点は、当センター会計窓口（又は事務局総務課）にお問い合わせください。

専門病棟見学会のお知らせ

県内関係機関に勤務される医療職の方、および行政職の方を対象に専門病棟見学会を実施します。
ご興味ご関心のある方は奮ってご参加ください。

日 時：平成28年11月30日(水) 9:30～12:30
平成28年12月8日(木) 9:30～12:30
平成28年12月15日(木) 13:00～16:00

会 場：神奈川県立精神医療センター 2階講堂

募集人数：各回30名程度

対 象 者：県内関係機関に勤務される医療職の方、および行政職の方

申込方法：当センターホームページまたはFAXにてお申込ください。

申込締め切り：平成28年11月24日

※ただし募集人数に達し次第締め切りとします。



問合せ先

横浜市港南区芹が谷2-5-1

神奈川県立精神医療センター 地域医療連携室 中居

TEL: 045-822-0241 FAX: 045-822-0270 MAIL: nakai.16001@kanagawa-pho.jp

● 公開講座のお知らせ ●

神奈川県立精神医療センターでは様々な精神医療に関わる公開講座を開催しています。
ご興味ご関心のある方は奮ってご参加ください。

開催日時	研修テーマ	募集人数	参加条件		参加費
			対象者の条件	※新人の参加	
平成28年11月10日(木) 17:30～18:30	イレウスの予防と 早期発見の看護ケア	約20名	テーマに関心のある 看護師 (初心者～中堅者向け)	可	資料代500円
平成28年12月8日(木) 17:30～18:30	思春期精神看護で 学んだこと	約20名	テーマに関心のある 看護師 (初心者～中堅者向け)	可	資料代500円
平成29年1月12日(木) 17:30～18:30	精神科における 家族支援	約20名	テーマに関心のある 看護師	可	資料代500円

申込方法：ファックスまたはメール
申込期限：各研修とも1週間前まで

お問合せ・申込先 TEL: 045-822-0241
FAX: 045-822-0242
MAIL: saitou.16004@kanagawa-pho.jp
担当者：看護教育科 齋藤／佐藤



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1
TEL 045-822-0241(代) FAX 045-822-0242
<http://seishin.kanagawa-pho.jp/>